



# 産学連携コンソーシアム 2022年度事業成果報告

龍谷大学×滋賀県中小企業団体中央会

## 2022年度事業計画について

- ▶ ①ものづくり中小企業・小規模事業者と  
大学（教職員・学生）との接点づくり
- ▶ ②ものづくり中小企業・小規模事業者の  
魅力発信・人材確保への支援
- ▶ ③滋賀県CO2ネットゼロ社会づくりの推進
- ▶ ④ものづくり中小企業・小規模事業者との交流機会創出
- ▶ ⑤ものづくり中小企業・小規模事業者との  
ネットワーク構築（情報提供・情報発信）
- ▶ ⑥ものづくり中小企業・小規模事業者への  
経営革新・技術開発等支援

## 2022年度事業 実施報告について①

### ▶ 『2022 ものづくり中小企業×龍谷大学先端理工学部 連携交流事業 in 龍谷祭』

①先端理工学部3回生が取り組む『R-Gapプロジェクトリサーチ』を通じた交流

②第100回龍谷祭と同時に行われる『オープンラボ（研究室公開）』へのご招待

●開催日時：2022年10月29日（土）11:00～16:00

●開催場所：龍谷大学瀬田キャンパス

●参加者：10社13名

●実施内容：先端理工学部3回生が取り組む「R-Gapプロジェクトリサーチ※1」のポスターセッション（36のプロジェクト）における審査を通じた学生との交流。学生が企画運営する学園祭『龍谷祭』および『オープンラボ（研究室公開）』へのご招待。

審査企業様による結果を学生にフィードバック。

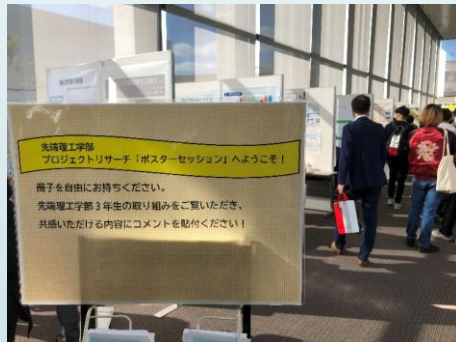
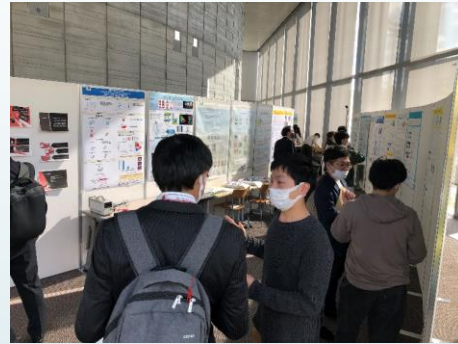
結果報告会および授賞式の後日開催。

R-Gapプロジェクトリサーチとは →



## 『2022 ものづくり中小企業×龍谷大学先端理工学部 連携交流事業 in 龍谷祭』

- ①先端理工学部3回生が取り組む『R-Gapプロジェクトリサーチ』を通じた交流
- ②第100回龍谷祭と同時に行われる『オープンラボ（研究室公開）』へのご招待



### 【参加企業様の声】

- ・ 学生さんの自主的な活動を直接聞くことで、今の学生の技術力、行動力やモチベーションの高さに触れることができた。
- ・ オープンラボは学生の研究を間近に見る事ができ、4回生ギリギリまで研究優先する姿を見る事が出来たのでこういった学生に自社の選考を受けてほしいと感じた。
- ・ 先生方とお話しすることが出来、企業パンフレットをお渡しすることもできました。
- ・ 審査すべきテーマが多すぎ、交流や自社PRの時間が少なかった。
- ・ 企業のことを学生に知ってもらう機会が欲しい。

## 2022年度事業 実施報告について②

### ▶ 『2022 ものづくり中小企業×龍谷大学先端理工学部 連携交流事業 Vol2』

「理工インターンシップ（R-Gap）」スタートアップセミナー

「プロジェクトリサーチ（R-Gap）」評価報告会&表彰式

- 開催日時：2022年12月21日（水）15：15～16：45
- 開催場所：龍谷大学瀬田キャンパス 8号館102教室
- 参加対象：（企業）産学連携コンソーシアム会員企業（参加企業数12社15名）  
（学生）プロジェクトリサーチ履修学生（先端理工学部3年生）  
デザインシンキング履修学生（先端理工学部2年生）  
理工インターンシップ履修学生（先端理工学部3年生）  
（教職員）龍谷REC、先端理工学部 各教職員

理工インターンシップとは ↑

- 実施内容：担当教員から「R-Gap」の期間に実施される

『理工インターンシップ』についての説明および受入企業からの実施事例の紹介。  
プロジェクトリサーチ（R-Gap）における担当教員および審査企業からの講評。  
審査に基づく学生に対する各賞（ものづくりプロジェクト大賞・中央会賞）授与。

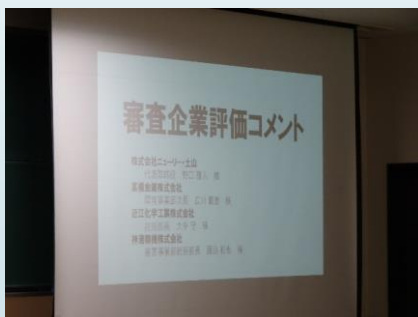




## ▶ 2022 ものづくり中小企業×龍谷大学先端理工学部 連携交流事業 Vol2』

### 「理エインターンシップ（R-Gap）」スタートアップセミナー

### 「プロジェクトリサーチ（R-Gap）」評価報告会&表彰式



#### 【参加企業様の声】

- ・ インターンシップの他社事例を知ることができ参考になった。
- ・ 学生がインターンシップ先をどのように選んで、何を期待しているか等、学生の意見も知りたい。
- ・ 自主的な企画を自らがプレゼンし評価される機会を、社会に出る前に体験することは、学生にとって大変有意義なことだと思う。
- ・ やや時間が長いように感じた。

#### 【インターンシップに対する取り組み状況】

- ・ 各社取り組みは進んでいるが、計画実施に対する負担が大きい中、「人が集まらない」「採用につながらない」など課題も多い。

## 2022年度事業 実施報告について③

### ▶ CO2ネットゼロ社会づくりの推進

先端理工学部 環境生態工学課程 水原講師の指導の下、中央会会員である「滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合」にてプラスチックゴミ削減によるCO2排出量の算定を実施した。県内事業者への取り組み啓発を目的に、組織で行うCO2ネットゼロへの取り組み事例として、動画配信を行った。

組合で取り組むCO2ネットゼロ →



### ▶ ものづくり中小企業・小規模事業者への人材確保支援

先端理工学部との連携交流において、R-GAP期間に学生が取り組む「理工インターンシップ」についての情報提供を行った。

キャリアセンターより、2023年度24卒学生の就活動向について情報提供を行った。

# 2022年度事業 実施報告について④

## 中央会HPを活用したものづくり中小企業（コンソーシアム会員）魅力発信事業

「産学連携コンソーシアム」の会員企業の魅力発信を行うため中央会ホームページの更新を行った。

龍谷大学在学生在の地域中小企業への関心・認知度を高めることを目的に、当該デジタルコンテンツを活用し、龍谷大学との産学地域連携基本協定に基づき運営する産学連携コンソーシアムの会員であるものづくり中小企業の情報や魅力を伝える。

【HPイメージ】

産学連携コンソーシアム企業紹介ページ →



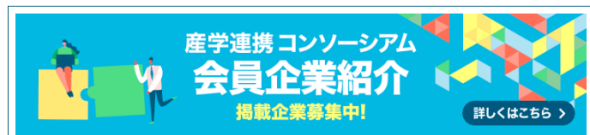
### 産学連携コンソーシアムとは

滋賀県中小企業団体中央会と龍谷大学は平成26年3月6日、「産学地域連携基本協定書」を締結いたしました。この協定は、滋賀県の中小企業の活性化推進のため、技術力及び経営力の向上と人材確保にかかわる分野において両者が緊密な連携を図ることを目的としております。

滋賀県中小企業団体中央会では、「ものづくり補助金」の滋賀県地域事務局として、ものづくり技術・革新的サービス等にチャレンジする県内中小企業の支援に取り組んでいます。

龍谷大学では、1991年に全国に先駆けて社会連携政策を推進するために「龍谷エクステンションセンター（通称：REC）」を設置。また、1994年には大学内設置のビジネスインキュベーション施設としては全国初となる「RECLメンタルラボ」を併設するなど、産学地域連携を大学の重要施策に位置づけ地域中小企業への支援を行っています。

「滋賀県中小企業団体中央会・龍谷大学産学連携コンソーシアム」では、滋賀県中小企業団体中央会と龍谷大学が緊密な連携のもと、ものづくり中小企業の技術相談や技術開発、新事業分野への進出、人材の確保・定着支援を一体となって取り組んでまいります。





## 2022年度事業 実施報告について⑤

### ■ ものづくりブラッシュアップ支援事業（技術相談）

県内ものづくり中小企業・小規模事業者様が抱える多様な経営および技術課題等の解決に向け、相談内容に応じて、滋賀県中央会にて龍谷大学のコーディネーターや教職員への橋渡しを行い、事業者と大学とのマッチング“つなぐ支援”を実施した。

#### 【相談実績】

ものづくりブラッシュアップ支援事業 ↓

- ◇RECレンタルラボ企業塗料メーカーとのマッチング
- ◇RECコーディネーターと滋賀県工業技術総合センターとのマッチング



### ■ ものづくり中小企業・小規模事業者とのネットワーク構築（情報提供・情報発信）

中央会および龍谷大学よりものづくり企業に有効な支援施策情報や大学の学部や教員の活動状況等の配信を行い、情報提供の充実に努めた。

#### 【発信実績】

毎月の定期メール配信

12回（令和4年4月～令和5年3月）